

北海道米キャンペーン  
実施中  
2008年2月29日(金)まで  
(株)そうべい

天気予報  
今日(17日)  
北東のち北の風、曇り時々雪。波の高さ2.5m(降水確率30%)最低零下9度最高同7度  
明日(18日)  
北のち北東の風、曇り一時雪。波の高さ1.5m(降水確率50%)最低零下9度最高同6度  
明後日(19日)  
北西の風、曇り一時雪。波の高さ1.5m(降水確率50%)最低零下8度最高同4度

# 日刊宗谷

1月17日(木曜日)  
平成20年  
発行所 稚内市開運2丁目1番8号  
株式会社 宗谷新聞社  
電話 営業 5010番 編集 5011番・F 5012番  
(購読料一ヵ月1,200円 定価1部50円消費税込)

食肉・食品・副産物・食品加工  
菅原 S 畜品  
TEL(代) 24-2111  
本社 稚内市港5丁目2-34 FAX. 24-0532

## みどり香るまちづくり企画コン 環境大臣賞に輝く

両団体はこれまで、相互協力しながら、歴史的建造物の同通信所の修復や北海道千本松運動に参画、成果をあげたことが高く評価された。とりわけ「香りとさえずりの杜・コミュニケーション」づくりは、地域の意向をふまえたものであり、事業実施団体が市民主体であることに意義があると

稚内市歴史・まち研究会(富田伸司会長)と恵北・増幌地区まちづくり委員会(鎌仲秀行委員長)が環境省の「みどり香るまちづくり」企画コンテストで環境大臣賞に輝いた。21日東京・中央区の八重洲富士屋ホテルでの表彰式には、両団体代表が出席、晴れの表彰を受ける。両団体では副賞として贈られる樹木・草花約850本を今春、市民の全面協力を得て、恵北地区の旧海軍通信所周辺に植栽、大臣賞にふさわしい活動を続けてゆきたいとしている。

### 香りとさえずり市民と完成めざす ずりの杜 市民と完成めざす

加を呼びかけたところ多数の応募があった。また植栽後の雑草刈りなどの手入れにも、ボランティアが多く、今春もこうした形をとってゆきたいという。参加者が植栽した樹木や花苗の付近には、メモリアルプレートを設置するなど将来にわたっての記念、思い出を刻むものにする。

### 回遊に手ぐすね

解禁近い稚内沖毛ガニ

稚内沖の毛ガニに固定式刺網漁船12隻(うち稚内10隻、利尻2隻)は、21日の出漁を前に準備に大忙し。結氷期の一番漁としてこの毛ガニ漁は沿岸漁業にとっては期待の漁、しかし、最近ではサハリンからの輸入ガニに押され市況もさえずり、また資材の値上げで漁船の稼働が、出漁船はトラバガニなどの混獲と合わせて好漁を期待している。

### 22日設立総会

稚内Bフレックス拡大の会

仮称・稚内Bフレックス拡大の会(世話人代表菅原耕氏)の設立総会は、22日午後3時から宗谷経済センターで開く。

宗谷教育  
51回宗谷  
初め  
児童生

稚内信用  
日付で次の  
リスク管  
イアンス統  
委嘱専務  
長佐々木正  
部次長待遇  
長)木本崇



出足閑散の「灯油券」支給初日

### 市の「灯油券」初日はまばら 「殺到」の予想に反し

稚内市では、16日から本庁と宗谷・沼川両支所で「灯油券」の支給を開始したが、初日は予想に反して申請に訪れた人がまばら。約60人だった。連続した灯油値上がりで、市では低所得世帯への暖房支援策として、1世帯100円(所得制限等の条件つき)の「灯油券」支給をきめた。推定では1千世帯が該当する

無状態。しばらくして数人が支給を受けて帰ったが、午前中は33人だけだった。初日は結局、60人程度にとどまり、拍子抜けの形。

宗谷教育  
51回宗谷  
初め  
児童生

稚内信用  
日付で次の  
リスク管  
イアンス統  
委嘱専務  
長佐々木正  
部次長待遇  
長)木本崇

### 高校の出願迫る 社説

お正月気分もさめやらぬうちに早や高校入試の日程が迫ってきた。公立、私立高校は21日から出願を開始するが、受験生は勿論のこと、父母も気をまんできていることだろう。公立高校の統廃合は、受験生にとっては深刻な問題。しかし、自分の実力を失わずに試験に臨むことは必要なことだ。稚内には大谷高という私立校があるだけに受験生は

恵まれていると思う。中学生までの義務教育で積みあげた実力を発揮してこれからは本当に自分の意志によって勉学するのが高校生活である。今までの学んだ実力を十分に発揮することが大切である。少子化により高校進学も例年生徒数は減る傾向にはあるが、やはり1つの関門を通過する実力が備わっていないと今後受験は難しいと言えよう。普段は出来る子供が試験になると実力が十分出せないなどの子どももいるが、それは精神的な鍛えが欠けているからだと先生は言う。緊張の糸が切れる

っ白になったと言ったことか、そうしたことを含めて入試経験は人生にとって大切な試験の場の一つでもある。

大谷高は160人の定員である、どの程度の出願になるか分からぬが、試験当日まで十分に備えてゆきたいものだ。

一方、大学入試も近づくにつれて、これは高校と異なり、いずれも自己意志がしっかりとっているの挑戦であり、どのような結果を招いても自分の責任であることは十分自覚していると思う。唯、悔いを残すような結果にならないように努めるべきである。結果を他人のせ

いにするようなことがあってはいけないと言いたい。

### 新学期は要敬

インフルエンザ

稚内保健所では、小中学校の新学期とともに、再びインフルエンザが流行することを警戒。うがい、手洗いなどの基本的な予防措置を徹底するよう、注意を喚起している。

27日午前11  
館で総会、  
会を開く。  
事業計画  
会員同志の